

産業建設委員会記録

令和6年11月7日(木)
10時00分～10時53分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長
村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員
【議長・委員外議員】笹田議長

【執行部】

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事、大谷産業振興課長
(都市建設部) 倉本都市建設部長、皆尾維持管理課長
(金城支所) 市原金城支所長、河内産業建設課長
(旭支所) 西川旭支所長、官澤産業建設課長

【事務局】大下書記

議題

1 執行部報告事項

- (1) ユネスコ無形文化遺産登録10周年記念事業の実施について 【産業振興課】
 - (2) 松原公園の供用開始について 【維持管理課】
 - (3) その他
- (配布物)
- ・ 漁業別水揚げについて 【水産振興課】

2 その他

3 行政視察の報告書について (委員間で協議)

4 【取組課題】建設業の問題点と課題について

- (1) 危険箇所(災害防除必要箇所等)の巡回の実施について (委員間で協議)
- (2) その他

5 12月定例会議での委員会代表質問について (委員間で協議)

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 00 分 開議]

○川上委員長

ただいま出席委員は7名で定足数に達しているので、直ちに委員会を開催する。

1 執行部報告事項

(1) ユネスコ無形文化遺産登録10周年記念事業の実施について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○産業振興課長

日本の手すき和紙技術が平成26年にユネスコ無形文化遺産登録されてから今年で10周年を迎えるため、その記念事業を実施するので報告する。

今年1月にユネスコ無形文化遺産に登録された、手すき和紙技術のある岐阜県美濃市、埼玉県小川町、東秩父村、浜田市の2市1町1村と、各市町村の手すき和紙技術保存会で実行委員会を組織して準備を進めてきた。この記念事業については、11月26日火曜日から12月1日日曜日の6日間にわたって京都市の二条城にて開催される。期間中は手すき和紙産地を紹介する展示や、和紙を利用したワークショップが実施される。また、12月1日には式典として記念公演や特別企画として3市保存会による紙すき実演を行う。浜田市からは石州和紙技術者会会長である西田誠吉氏が実演される予定である。

なお、式典当日は浜田市から実行委員会委員の久保田市長と、来賓として笹田議長、岡田教育長が、島根県からは京谷副教育長が参加される。

二条城という観光客等で多くの人が訪れる場所での記念事業実施なので、無形文化遺産を広く周知したいと思っている。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○牛尾委員

二条城は事前申込みが必要である。メモリアル事業を市民が観覧しようとしても事前申込みで許可を得ないといけないが、どのように対応されたか。

○産業振興課長

開催場所については、海外からも含め多くの人が集まる場所で広く周知できるということで京都を選んだ。候補地はいろいろあったが、二条城は入場料が必要となっている。二条城の入館者は昨年度185万6千人ほどであり十分ユネスコをPRできるとし、2市1町1村で検討した結果、賛同の多かった二条城に決定された。なお、来賓についてはパスポートにより無料で入館できる。

○川上委員長

委員の質問と答弁が食い違う。

○産業振興課長

市民は入場料を払わないと入れないので、市民の方に広く見ていただくことはできない。

○牛尾委員

京都はインバウンドの関係で外国人が多いので、そこからやがて三隅へ来てもらう動線にはなると思う。しかし周年事業は地元の方もできれば行きたいと思うだろう。事前申込みによって毎日の入館者が決められており航空警察も付いている。例えば申込みをしていなくても何かしら見られる配慮、フォローは地元対策として考えているか。

○産業振興課長

地元の方へのPRについては、8月10、11日の二日間、ユネスコ無形文化遺産登録10周年記念事業として地元で石州紙祭りを開催した。当日は石州半紙の紙すき実演や歴史展示、浜田市民に十分楽しんでいただけるような祭りを開催してPRした。

○田畑副委員長

記念式典を行うに当たっての予算はどのくらいか。

○産業振興課長

実行委員会全体の予算として758万2千円で実施予定である。

○田畑副委員長

記念式典は第1部、第2部、特別企画を実施するが、これらは758万2千円のうちのどのくらい掛かるか。

○産業振興課長

1部、2部という形での予算分けはできないが、10周年記念事業の1部と2部の記念公演、事前周知のチラシ作成、これらの予算が大半を占めている。特別企画の紙すき実演やワークショップはそれほどウエイトを占めない。

○佐々木委員

758万2千円は全体の事業費で、それを3市で均等割りするのか。

○産業振興課長

2市1町1村が100万円ずつ負担金を出し、さらに文化庁の補助金を358万2千ほどいただく。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

せっかく事業をされるので、事業をした結果を記録に残して1階ロビーに展示したりケーブルテレビで報道したりしてほしいのだが、計画はあるか。

○産業振興課長

実績は当然報告するが、市民向けのPRは考えてなかった。いただいた意見を検討したい。

○川上委員長

検討という言葉は非常にあいまいなので、実施する方向に進めたいと言ってもらいたい。きっとやっていただけると期待している。

○産業振興課長

実施したいと思う。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 松原公園の供用開始について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○維持管理課長

松原町のすくすく跡地の公園整備について、供用を開始したので報告する。

供用開始は令和6年10月31日木曜日である。施設概要は資料に記載しているが、照明灯が太陽光パネル付きの発電できるタイプで、受注生産のため12月に納品・設置される予定である。それ以外の施設はすでに設置して供用開始している。

また、松原公園開園式を11月22日金曜日に予定している。地元の方々へ改めてお披露目したいと思っている。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○大谷委員

掛けた費用は予算のとおりだったのか。

○維持管理課長

整備費については今のところおおむね約4千万円程度となっている。

○大谷委員

予算書の中では遊具が1千万円とあったと記憶しているが、そのとおりなのか。

○維持管理課長

おおむね計画どおりやったが、最初の計画と違うのがフェンスである。当初は3.5mと高いフェンスを計画していたが、それよりは低くしたほうが解放感があって良いとのことで1.5mのフェンスに変更した。よって当初予算より若干減額になっている。

○大谷委員

遊具については当初の計画どおりか。

○維持管理課長

当初の予定どおりやっている。

○大谷委員

感想としては、あれが1千万円かという気がした。入り口部分に車止めがしてあっ

て駐車場が中に設置されているのだが、車は入れないような設置になっていたように思う。あの車止めはどのような状況で開放されるのか。

○維持管理課長

町内の催しの際などのために、取り外せるものを設置している。

○大谷委員

つまり町内行事がなければ中の駐車場は利用できないのか。

○維持管理課長

中の駐車場とは4台分のスペースのことか。その部分に設置していたバリケードは現在すでに撤去しているので、いつでも使える。

○大谷委員

図面で言うと右側に車止めがあったように思うが、そのバリケードはもう取っ
てあるのか。

○維持管理課長

はい、駐車場に車の出入りができるようにしている。

○牛尾委員

フェンスを3mから1.5mにしたとのことだが、11区画は住宅として売り出す予定
になっている。この松原公園に隣接した場所へ家を建てるに当たってフェンスが低い
と問題にならないか。もともとこの公園は、はまだ市民一日議会でボール遊びがで
きる公園を欲する子どもの訴えによってできたものだが、フェンスが低すぎると民家に
迷惑が掛かるのでは。フェンスを下げたことで圧迫感がなくなったのは良いが、や
がてここに住まわれる方にとってどうなるか心配である。

○維持管理課長

この公園でのボール遊びは基本的に止めてもらうよう町内にも伝える。ボール遊
びは下水処理場の横に結構広い面積を確保して、そちらでやっていただくよう今後整
備を進めていきたい。

○牛尾委員

それは分かるが、あれだけの広場があそこであれば子どもはいろいろな遊びを
したがる。それを、ボール遊びはここでやるな、下水処理場の横でやってくれなど、
今の時代にそぐわない答弁だと思わないか。せっかくここへお金を掛けて造るのに、
あれは駄目、これは駄目という変なルールは違和感がある。

○維持管理課長

私も子どもがいるので言われることは良く分かる。今後状況を見ながら、その
時々で対応していければと思っている。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

ここの管理は誰がされるのか。

○維持管理課長

維持管理課が行う。

○川上委員長

日常の安全管理は誰がやるのか。

○維持管理課長

安全管理も含めて維持管理課で行いたい。

○川上委員長

維持管理課の方がここに常駐するとは思えないので、多分町内会に任せるのだろう。町内の方が安全管理をされるのか。

○維持管理課長

この公園に限らず、ごみ拾いや草刈りなどを町内で対応してもらっているケースもある。今後そういうことも含めて町内会と話したい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(3) その他

○川上委員長

配布物が1件ある。漁業別水揚げについては資料配布のみのため、各自確認された。ほかに何かあるか。

○維持管理課長

11月2日の豪雨による被害状況について口頭で説明したい。まず道路などの公共災害は、浜田地域で3件、旭地域で7件の計10件の被害があった。ほとんどが崩土の除去だが、浜田で1件、旭で2件ほど国の災害指定を受けて補助金をいただく工事がある。

また、家の裏側のり面が崩れたというのが金城で2か所ある。宅地自然災害防止事業という自己負担25%で対策する市の事業があるので、またそういった話があれば対応していきたい。

なお、今報告した数は調査中のため変わる可能性がある。後日改めて文書を取りまとめて説明したい。

○産業経済部参事

併せて農林関係の被害状況についても報告したい。金城で農地と水路、浜田で水路1件の計2件災害が起こっている。これらも現在調査中のため、建設と併せて後日の委員会にて取りまとめ次第報告したい。

○川上委員長

農災については2件とも災害指定を受けるような状況か。

○産業経済部長参事

今知らせたのは本災として扱う。そのほかいわゆる小災と呼ばれる、激甚になっ

たら対応するものが別に6件あるが、まだ激甚指定されるか分からないため確定次第またお知らせしたい。

○川上委員長

災害の状況報告があった。後日当委員会で報告されるそうだが、委員から何か聞きたいことがあるか。

(「なし」という声あり)

ほかにあるか。

○金城支所産業建設課長

追加で、温泉総選挙2024の結果について報告する。詳しくは資料を参照されたいが、全国75の温泉地が8部門に分かれて競った。金城の美又温泉旅館組合は美肌部門、旭温泉旅館組合は歴史・文化部門にエントリーし、皆の協力によって見事1位を獲得できた。今後の誘客につながるよう効果を発揮していきたい。

○川上委員長

委員から何か質問はあるか。

○大谷委員

それぞれ1位になったことは喜ばしい。旭温泉が歴史・文化部門で1位とのことだが、今後どういったアピールをする計画か。

○旭支所産業建設課長

旭温泉旅館組合が、地域に根付いた石見神楽と組み合わせて歴史・文化部門にエントリーして取り組んだ。旭町内には10社中あって夜神楽などをやっている。そういった地域文化も生かして取り組んでいきたいと考えている。

おかげ様で1位が取れたので、社中の協力を得て展示を行ったり、神楽面を作っている方もいたりするので、そういったことをPRしていきたい。

○大谷委員

こういう結果を基に観光客が来られたときに、どこで見られるか、どういう状況なのか、パンフレットのものはすでに用意されているのか。

○旭支所産業建設課長

現在のところはまだ準備段階であり未作成だが、旭温泉組合で検討されている。PR方法についても併せて検討中であるが、基本的にはSNSの活用を中心にしたPRが第一と考えている。

○大谷委員

発信については時期的に何月何日をめどに発信するといったスケジュールはできているのか。

○旭支所産業建設課長

スケジュールはまだ詰まってない。我々も入ってスケジュールとどういったPRをするか詰めていきたい。

○大谷委員

いつまでにやるということを明確にしていかないと、ずるずるとタイミングを逃

してしまうことを懸念する。時期的なことは明言されたほうが良いと思うが。

○旭支所産業建設課長

温泉組合とまず確認する。早速メディアが取り上げていることもあるので、今月半ばで、こういった形になるか分からないがまずはSNS等でのPRを検討いただいて情報発信していきたい。

○牛尾委員

旭について気になる。2位から5位まではそこそ有名な温泉地である。湯の良し悪しも含めて温泉そのものに歴史的なストーリーといったものが外からの客には必要ではないかと思うのだが、単に夜神楽をやるくらいならどこでもやっている。そういうものではなく、お客がリピートしたくなるようなストーリーが旭温泉にあるのか。

○旭支所産業建設課長

旭温泉としては現在、日帰りが1件、宿泊が1件という状況である。リピーターの状況としては、昔ながらの通いやすい温泉、気軽に日帰り等もしていただけるという形でのリピーターを獲得している。リピーターになりやすい風情、気軽さがまずあると考えている。

○牛尾委員

農業でも6次産業化している。いかに地域の特産品を歴史を絡めて売り込んでいくか。例えばみかんが甘い酸っぱいではなく、徳川家康が好んで良く食べたいわれのあるみかんだとか、今はそういう時代である。歴史部門で1位になったからには歴史的なストーリーが必要なのではないか。外から来た方に入りやすい温泉といったレベルではなく、もっと千年単位の長いスパンで歴史物語があって、それが温泉とつながるようなストーリーは作れないものか。

○旭支所産業建設課長

全国津々浦々、千年といった歴史があるが、旭温泉については開湯したのが昭和52年であり、温泉単体で見れば歴史が深いとは言えない。スタートも地域住民の健康増進のために始めている。一つのコンテンツとして旭温泉組合としては、石見神楽が地域文化として根付いているということでエントリーさせてもらったので、それを売りにしたい。

○川上委員長

その他、執行部から報告事項はあるか。

(「なし」という声あり)

以上で執行部からの報告事項は終わった。ここで11月15日の全員協議会へ提出して説明すべきものを決定したい。まず執行部の意向を確認する。

○産業経済部長

その他で報告した温泉総選挙2024についての1件を報告したい。

○川上委員長

執行部の意向のとおりでよろしいか。

(「はい」という声あり)

では1件のみ、報告をよろしく願います。

2 その他

○川上委員長

その他、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、執行部は退席されて構わない。暫時休憩する。

[10時 32分 休憩]

[10時 39分 再開]

3 行政視察の報告書について（委員間で協議）

○川上委員長

10月22日から24日に掛けて、富山県の3か所を視察している。皆から寄せられたいろいろな報告を全24ページにまとめ、最後のページには私が総括を書いた。すでに読んでもらっているだろうが、何か過不足等あれば言ってもらって本日まとめてしまいたい。

○大谷委員

入れてほしいというほどではないが、一応所感に書いた、大手企業だけでなく、中小企業でも栽培漁業や養殖をやろうとしたときに何か支援できる余地はあっても良いと思った。今は大手にばかり目を向けているが魚種が違えば競合しないので、そういうことがあっても良いと思った。

○川上委員長

つまり、「現在検討中のノドグロ稚魚の購入栽培なども加えて検討していくことが必要だと感じた」という部分を、「現在検討中のノドグロ稚魚の購入栽培など、小さな事業者がこういうことに関して望んでいける形にしたほうが良い」と。

○大谷委員

やろうとした方がおられたときには、そういったことも含みはあるよというスタンスだけは持っておいても良いと思った。

○牛尾委員

大谷委員が言われることは良く分かるが、今は養殖業は立地産業なので、商社とつながって販路の確保ができないと養殖業は大変である。例えばサーモンもすでに国内生産が外国産より増えている。天然魚よりもやがて養殖魚が増えるだろうという時代に、小さい単位の企業が参入することは好ましくはあるが実態から言えば、流通まで確保できる体力を持った企業とのつながりがないと難しい。地方で養殖業をやっても大変だと言われる時代である。

地元の小さい企業でも参入できるような制度などを考える必要があるのではないだろうか、と書くくらいなら良いが、単に今言われたようなことだけでは委員会の総括としては足りないのではないか。

○川上委員長

何となくイメージはできる。私はスタートアップ企業への支援も考える必要があるのではないかということも少し気になったのだが、大谷委員はどうだろうか。

○大谷委員

牛尾委員の指摘も納得している。可能性が膨らむ要素として記載してもらえばそれで良い。

○川上委員長

では、牛尾委員と大谷委員の意見を踏まえ、ここに若干加えたいが私に任せてもらって良いだろうか。

(「はい」という声あり)

では私が加筆して皆に報告した後、この報告書を議長へ提出することとしてよろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにし、この報告書を基に村木委員にレポートを作成してもらいたい。レポートができたならまた皆に確認いただき、12月定例会議初日の全員協議会で発表したい。よろしく願います。

4 【取組課題】 建設業の問題点と課題について

(1) 危険箇所（災害防除必要箇所等）の巡回の実施について（委員間で協議）

○川上委員長

最初の巡回は明日8日金曜日の午前8時25分から開始して夕方まで。弥栄、金城、旭、最後に旧浜田の6番を回れば一番良い。13日の8時25分から浜田市街と三隅を回って午前中で帰れたらと思っている。今のところ8日は私と田畑副委員長、小川委員、大谷委員、村木委員の5名で回りたい。13日は私、田畑副委員長、小川委員、佐々木委員によろしく願います。明日は護岸の上などを歩くため長靴の準備をお願いします。また、休憩を波佐でする点もご承知おき願う。弥栄、金城、旭は支所の担当職員にも随行してもらおう。長丁場になるため途中で何度か休憩を取りながらやりたい。

写真等の記録は極力皆が各自で取ってほしい。また、災害防除必要箇所等についておよそどの程度の金額が掛かるかを説明いただく点についても理解をお願いします。旭の1か所は今日これから確認しに行き、車が入れないようなら写真のみとさせていただきます。

ほかに皆から質問などはあるか。

(「なし」という声あり)

特段ヘルメットも不要で、足元だけしっかりしたものを履いてきてほしい。終わったならまた所感を伺いたい。

(2) その他

○川上委員長

地域小売店の取組等について、何か進捗はあるか。

○牛尾委員

商店街にも話をしているが、商店街の体をなしてないところが結構出てきていて、一応正式文書を出してほしいとのことだった。例えば銀天街は理事会で協議したいと聞いている。ほかにはシャッター通りが多く、いわゆる各店の売上げを伸ばすのではなく例えば商店街で言えば街路灯が壊れているが替える体力がない。市にもそういったところへの補助事業がない。5、6年前と違って商店街活性化事業を呼び掛けても応答がないという非常に悲惨な状況である。一応各商店街とマリINSTAMP協同組合の代表者に協力要請をしている。今はそこまでである。

○川上委員長

街灯の入替えなどの話が出た。少しでも地域が明るくなることがあればまとめて報告をいただければと思う。

5 12月定例会議での委員会代表質問について（委員間で協議）

○川上委員長

これについては以前も言ったが、できれば今回の建設業の問題点と課題についての視察を取り上げて、これだけのものがあるがどうだろうかということ委員会としてやっていけたらと思う。今回全部で36か所を回るが未着手ばかりである。長いところは10年くらい前から放置である。ぜひそれを取り上げていきたいと思うがよろしいか。

（ 「はい」という声あり ）

では後日、このような形でということで皆の意向を伺いたい。

以上で産業建設委員会を終了する。

[10時 53 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川上 幾雄